

平成30年 2月吉日

NPO法人アール・ド・ヴィーヴル

理事長 萩原 美由紀

関係各位

## 「ニーゼと光のアトリエ」小田原上映会のご案内（お願い）

拝啓

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃よりアール・ド・ヴィーヴルの活動にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのある方が自分らしさを尊重される環境のなかで、アート活動に取り組む就労B型事業所です。毎日、素敵な作品が生まれ、企業へのリースや広告、オリジナルグッズ、つながるカード(名刺)等に二次使用されており、障害者の工賃へと反映されております。

さて、この度アール・ド・ヴィーヴルでは、障害理解のための啓発活動の一環として、映画「ニーゼと光のアトリエ」上映会を開催する運びとなりました。この作品は、東京国際映画祭グランプリ作品で、ブラジルの精神病院内にアトリエを作り患者と向き合った医師ニーゼの半生を綴っています。当事者、家族会、障害福祉、医療、教育など関心のある方へぜひご紹介、ご周知のご協力をお願いできれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

実施名： 「ニーゼと光のアトリエ」小田原上映会 （上映時間109分・R15+指定）

日時：2018年 3月 3日(土) ①10:30～ ②13:30～

②上映後アフタートークあり 出演：田口ランディ(小説家)、中津川浩章(美術家)

会場： 小田原市生涯学習センターけやきホール

★駐車場が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

鑑賞チケット：前売り1000円 （当日1300円）

託児： あり （要予約）アール・ド・ヴィーヴルまで 0465-25-4534

チケット取扱い ハルネ小田原街かど案内所、伊勢治書店ダイナシティ店、平井書店、

mame 元カフェ(栄町)、アール・ド・ヴィーヴル

主催 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル <http://artdevivre-odawara.jp>

後援：小田原市・小田原市教育委員会 協力：小田原医師会・FM おだわら

お問合せ：アール・ド・ヴィーヴル（萩原・梅里） [info@artdevivre-odawara.jp](mailto:info@artdevivre-odawara.jp)

小田原市久野906 アネシスヒルズ102 電話・FAX 0465-25-4534  
<http://artdevivre-odawara.jp>



東京国際映画祭

グランプリ & 最優秀女優賞 W 受賞!

わたしの武器は、愛と絵筆

# ニーゼと光のアトリエ

心理療法の常識をくつがえし、愛と芸術で人を癒したある女医の真実の物語

監督・脚本：ホベルト・ベリネール プロデューサー：ホドリゴ・レチエル 出演：グロリア・ピレス シモーネ・マゼール ジュリオ・アドリアン クラウジオ・ジャボランジー  
ファブリシオ・ボリヴェイラ ホネイ・ヴィレラ 2015/ブラジル映画/ボルトガル語/109分/カラー/ヴィスタ 原題：Nise - O Coração da Loucura (Nise - The Heart of Madness)  
公式ホームページ：<http://maru-movie.com/nise.html> 配給・宣伝：ココロラ・動かす・映画社 © TvZero

2018年3月3日(土) 小田原上映会

小田原市生涯学習センター けやきホール 10:30 | 13:30 (13:30の終了後アフタートークあり)



ただありのままを受け入れることができたなら、  
ここはおのずと回復する力をもっている。  
なにもしなくても大丈夫。  
ニーゼのように、ただそれを信じさえすれば。

田口ランディ (作家)

患者の絵や彫像はなんと神々しいことか。  
ペリネール監督は、筆や土に彼らの魂が宿る  
瞬間をこそ描きたかったのだろう。

最相葉月 (ノンフィクションライター・「セラピスト」著者)

完璧な映画だ！

患者を演じる役者たちは殊に素晴らしい。  
見事なテンポにユーモアをも加え、  
最高レベルのエンターテインメントに到達している。

ブライアン・シンガー (『X-MEN』シリーズ監督・第28回東京国際映画祭 審査員長)

アイスピックが最新の治療道具としてもてはやされた1940年代。  
心理療法の常識に屈することなく、アートや動物を介して人を癒した実在の女医、  
ニーゼ・ダ・シルヴェイラの気高き魂の物語。

1944年、ブラジル。ひとりの女医が精神病院の門をたたく。彼女の名はニーゼ。  
そこでは毎日のように電気ショックなどの暴力的な治療が行われていた。患者を人  
扱いない光景を目の当たりにし、ニーゼは言葉を失う。最新治療にしか興味のない  
男性医ばかりの院内で、彼女が身を置けるのは、ナースが運営する作業療法部門  
だけだった。そこでニーゼは患者に絵の具や筆、粘土などを与えて、彼らが自由に  
表現できるよう病室をアトリエに作り変える。少しづつ開かれてゆく患者たちの心  
の扉。しかしそんな中、ある事件が起こる一。

『セントラル・ステーション』や『シティ・オブ・ゴッド』など、ブラジル映画の  
傑作に新たな作品が加わった。ブラジル国内はもちろん、国際的にも名高いリオデ  
ジャネイロ国際映画祭で観客賞を受賞し、昨年東京国際映画祭ではグランプリと  
最優秀女優賞をW受賞した本作である。ドキュメンタリー出身の奇才、ホベルト・  
ペリネール監督が構想に13年、撮影期間4年をかけて丁寧に作り上げた。ニーゼを  
演じるのはブラジルを代表する名女優、グロリア・ピレス。伝説の女医を情熱的に  
演じている。

15歳未満の方は入場・鑑賞ができません。

R15+



## 《芸術療法とは》

幼いころ、誰もが経験したことのある「ごっこ遊び」や「砂遊び」などは、子どもの成長や発達を促す一助として重要な役割があります。芸術療法（アートセラピー）とは、そんな表現活動を生かした心理療法のことを指します。言葉では説明できない心の世界や感情を、絵や音楽、ダンスなどのイメージ表現によって問題解決の糸口を見出し、自己実現への道を開くことを目的としています。（一般社団法人臨床心理士会ホームページより）

**2018年3月3日[土]** 会場：小田原市生涯学習センターけやきホール 託児あり【要予約】：0465-25-4534（アール）  
神奈川県小田原市荻窪 300 / 小田原駅よりバス8分「市役所前」（公共交通手段でお出かけください）

上映 ①10:30～②13:30～②の上映後トーク：出演 田口ランディ氏（小説家）・中津川浩章氏（美術家）萩原美由紀  
(アール・ド・ヴィーヴル理事長)  
入場料：前売 1,000円 当日 1,300円 (前売取扱：ハルネ小田原街か案内所・伊勢吉書店ダイナシティ店・平井書店・mame元カフェ他)  
主催・お問合せ：NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル mail: info@artdevivre-odawara.jp tel・fax: 0465-25-4534  
後援 小田原市・小田原市教育委員会 協力 小田原医師会・FMおだわら  http://artdevivre-odawara.jp  公式サイト